

### 【補充問題③－3】 解答

算数 計算のきまり	5年 組 名前
-----------	---------

問一 次の計算のきまりに合うように  にあてはまる数を入れましょう。

(1) たされる数とたす数を入れかえても、和は変わらないので、  
 $5 + 7 = 7 + \boxed{5}$

(2) 3つの数をたすとき、たす順序をかえても、和は変わらないので、  
 $(2 + 3) + 4 = 2 + (\boxed{3} + 4)$

(3) かけられる数とかける数を入れかえても、積は変わらないので、  
 $8 \times 4 = \boxed{4} \times 8$

(4) 3つの数をかけるとき、かける順序をかえても、積は変わらないので、  
 $(3 \times 4) \times 2 = \boxed{3} \times (4 \times 2)$

(5)  $\square \times \bigcirc + \triangle \times \bigcirc = (\square + \triangle) \times \bigcirc$  という計算のきまりをつかうと、  
 $2 \times 6 + 8 \times 6 = (2 + 8) \times \boxed{6}$

(6)  $\square \times \bigcirc - \triangle \times \bigcirc = (\square - \triangle) \times \bigcirc$  という計算のきまりをつかうと、  
 $7 \times 9 - 2 \times 9 = (7 - 2) \times \boxed{9}$

積が1や10になるかけ算をおぼえておくと便利です。

$0.5 \times 2 = 1$        $0.25 \times 4 = 1$        $1.25 \times 8 = 10$



問二 次の計算で、計算のきまりを使って下のよう考えました。  にあてはまる数を入れましょう。

(1)  $3.6 \times 2.5 \times 4$

$= 3.6 \times (\boxed{2.5} \times 4)$

$= 3.6 \times 10$

$= \boxed{36}$

(2)  $7.2 \times 3.5 + 7.2 \times 6.5$

$= 7.2 \times (\boxed{3.5} + 6.5)$

$= 7.2 \times 10$

$= \boxed{72}$

計算のきまりが使えるようになると、便利だね。

